

大切な「水」をあなたへ…………… ● 川本ポンプ

## 吸込ユニット

SS-40~80  
SSF-100~250 取扱説明書  
SSF-S40~65

写真はSS形の例です

このたびは、吸込ユニットをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## &lt; 目 次 &gt;

1 はじめに	・・・ 2	4 確認	・・・ 7
2 製品の構成	・・・ 3	5 保守・点検	・・・ 7
3 据付	・・・ 4		

## ▲ 特に注意していただきたいこと

1. 据付は取扱説明書に従って確実に行ってください。据付に不備があると漏電・感電・火災、落下・転倒によるけがの恐れがあります。またポンプ振動の原因になります。
2. 排水処理、防水処理されていない場所には設置しないでください。水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。※排水処理、防水処理されていない場合の被害については責任を負いかねます。
3. 配管のネジ部にはシーリング剤を使用して、水漏れのないように確実に施工してください。確実に施工できていないと水漏れの原因になります。
4. 修理技術者以外の方は、分解・修理・改造を行わないでください。不備があると、故障・破損・感電・火災の原因になります。
5. 点検・交換の際は、必ずポンプの電源を遮断して作業を実施してください。漏電・感電やけがの恐れがあります。
6. ご使用環境に応じた期間で補修塗装を実施してください。ネジ部、防錆剤を塗布した加工部、錆止め塗装部などは、高湿度・結露・被水などのご使用環境で発錆し、思わぬ被害の恐れがあります。
7. 用途に合った商品をお選びください。不適切な用途で使うと事故の原因になります。
8. 食品関連の移送に使用する場合、使用材料のご確認など十分にご注意ください。異物が混入する恐れがあります。

本文中の関連箇所にも製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されています。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

▲ 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

▲ 注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

## 1 はじめに

吸込ユニットがお手元に届きましたら、下記をお調べください。

1. ご注文通りの吸込ユニットか、部品名・口径等をご確認ください。
2. 輸送中に破損した箇所はないか、ご確認ください。
3. ご注文の付属品が全てそろっているか、ご確認ください。

### [注記]

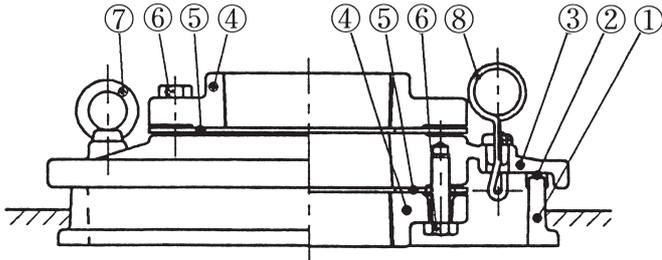
1. ご使用前に取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。  
取扱説明書には危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されております。
2. 適用範囲外での使用、注意書きなどの不遵守、不当な修理・改造、天災地変に起因するもの、設置環境（電源異常・異物・砂など）によるもの、法令・省令またはそれに準じる基準などに不適合のもの、不慮・故意による故障・損傷のもの、消耗部品の交換、転売による不具合などは保証対象外となる場合があります。
3. 弊社にお問い合わせの際は、『形式』をご連絡ください。
4. 不要な部品及び梱包材などの廃棄方法については、各自治体にご確認ください。
5. 用途や液質により発錆や金属の腐食・溶出を許容できない場合は注意が必要です。機器や設備全体を含め選定・検討してください。

<< 不具合な点がございましたら、お手数でもご購入先へご照会ください >>

## 2 製品の構成

### 1. SS形、SSF形

本図はSSF-100形の代表例を示すものであり、機種により本図と多少異なるものもあります。



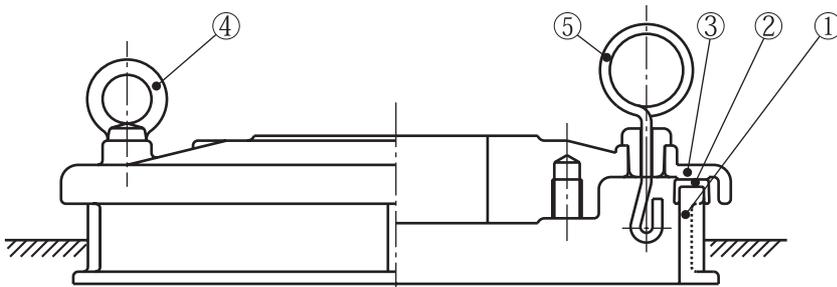
No.	名称	備考
1	ふた座	
2	Uリング	
3	ふた	
4	フランジ	SS40~80 は 1 個、SS-100 は 2 個
5	フランジパッキン	SS40~80 は 1 個、SS-100 は 2 個
6	ボルト	SS40~65 は 4 個、SS-80 は 8 個、SS-100 は 16 個
7	アイボルト	SS40~50 は無し
8	フック	

◎SS形のフランジはふた上部のみ、付属しています。

◎SSF-100形のフランジはふた上部・下部に付属しています。

◎SSF-125~250形のフランジは付属していません。

### 2. SSF-S形



No.	名称	備考
1	ふた座	
2	Uリング	
3	ふた	
4	アイボルト	SSF-S65のみ
5	フック	

◎SSF-S形のフランジは付属していません。

#### 2. 1 特別付属品

No	名称
1	フランジセット

### 3 据 付

#### ▲ 警 告

- 据付は取扱説明書に従って確実に行ってください。据付に不備があると漏電・感電・火災、落下・転倒によるけがの恐れがあります。またポンプ振動の原因になります。
- 適用される法規定（電気設備技術基準・内線規程・建築基準法、水道法など）に従って施工してください。法規定に反するだけでなく感電・火災・落下・転倒によるけがなどの原因になります。
- 梱包は釘やホッチキスの針などに注意して開梱してください。けがをする恐れがあります。
- 樹脂、ゴム部品は現場焼却しないでください。燃やすと有害なガスが発生する恐れがあります。処理方法は各自治体にご確認ください。
- 荷下ろし、搬入、据付で本製品を吊り下げる場合は、カタログ、据付図にて質量を確認の上、正しく行ってください。また、吊り具の定格荷重以上の製品は吊らないでください。吊り下げが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

#### ▲ 注 意

- 排水処理、防水処理されていない場所には設置しないでください。水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。※排水処理、防水処理されていない場合の被害については責任を負いかねます。
- 機器に衝撃を与えたり、転倒させないでください。破損する恐れがあります。
- 相フランジは吸込ユニットから外して配管にねじ込んでください。破損・漏水の恐れがあります。
- 機器の上に物を載せたり、人が乗ったりしないでください。機器の破損や転倒してけがをする恐れがあります。
- 配管のネジ部にはシール剤を使用して、水漏れのないように確実に施工してください。確実に施工できていないと水漏れの原因になります。
- 冬期などで凍結の恐れがある場合は、保温材・ヒータ取付などにより凍結防止を行ってください。凍結による破損事故につながる恐れがあります。
- 据付、点検などの作業を行う前に、周辺を整理してください。滑ったり、つまずいたりして、けがをする恐れがあります。
- 吸込配管は、ポンプ各々に設け、鳥居配管は避け、上り勾配（1/100以上）を付け、できるだけ短く、曲げる箇所を少なくしてください。ポンプが正常に運転しない恐れがあります。
- 配管内に空気溜りができないようにしてください。配管内に空気溜りがあると、ポンプが正常に運転しない恐れがあります。

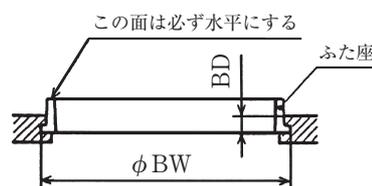
#### 1. 据付場所

- (1) この吸込ユニットは防滴形になっていますので、屋内・屋外どちらにも設置できます。
- (2) 吸込管やフート弁の保守・点検が行い易い場所に設置してください。

#### 2. 基礎工事

吸込ユニットは可とう継手ではありません。従って、ポンプからの吸込配管の寸法誤差を吸収させることは避けてください。

- (1) ふた座を水平に、また周囲から浸水しないように確実な基礎工事を行ってください。
- (2) 基礎の寸法は右表によります。



形式	口径	BD	BW
SS、SSF	40	18	230
	50	18	245
	65	18	265
	80	18	285
	100	23	330
	125	23	356
	150	23	406
	200	23	486
SSF-S	250	23	586
	40	18	228
	50	18	244
	65	18	264

### 3. 配管の接続

#### ◎SS形

- (1) ふた上部からフランジを外し、フランジに配管を接続してください。
- (2) ふた下部に配管を取付けてください。(ふた下部に管用テーパねじが切っております)

#### ◎SSF-100形

- (1) ふた上部・下部からフランジを外し、フランジに配管を接続してください。
- (2) ふた下部に配管を取付けてください。

#### ◎SSF-125~250形

- (1) ふた上部・下部用のフランジをご用意して頂き、フランジに配管を接続してください。フランジはJISB2220の呼び圧力10K薄形フランジを使用してください。その場合のボルトサイズは右表になります。
- (2) ふた下部に配管を取付けてください。

形式	口径	ボルトサイズ	数量
SSF	125	M16×45	16
	150	M16×45	16
	200	M16×45	24
	250	M20×50	24

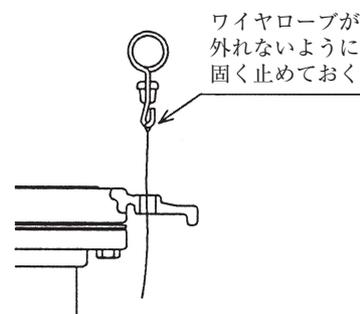
#### ◎SSF-S形

- (1) ふた上部・下部用のフランジをご用意して頂き、フランジに配管を接続してください。フランジは特別付属品(フランジセット)を使用するかJISB2220の呼び圧力10K薄形フランジを使用してください。
- (2) ふた下部に配管を取付けてください。

### 4. ワイヤロープの取付

レバー付フート弁を使用する場合は、ふたをふた座に取付ける前に以下の作業を行ってください。

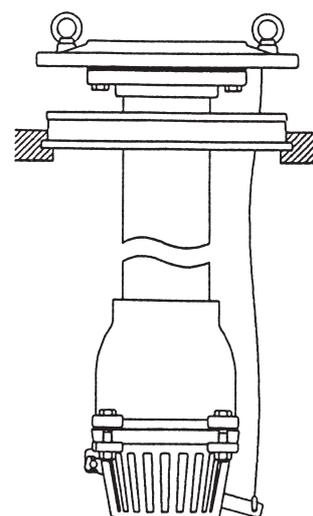
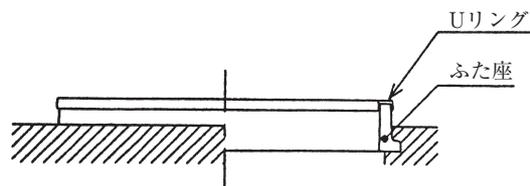
- (1) ワイヤロープをフック用の穴に下から通してください。
- (2) フックの下端にワイヤロープを通してください。フート弁の保守を容易にするためワイヤロープは若干長めにしてください。
- (3) フックの下端をペンチ等で挟み、ワイヤロープが外れないようにしてください。
- (4) フックをふたの穴に挿入してください。



### 5. ふたの取付

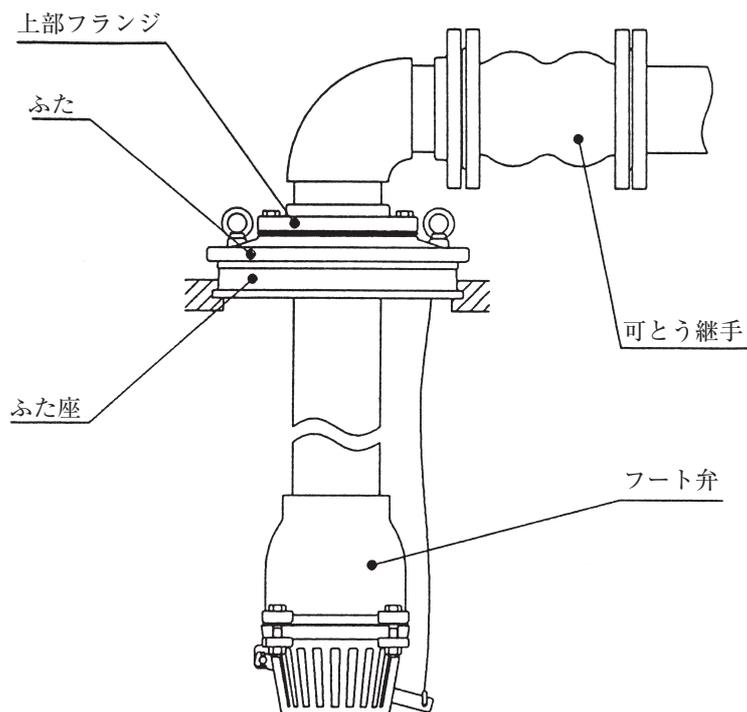
ふたを取付ける前に、必ずUリングを取付けてください。このUリングを忘れると防滴効果を失うだけでなく、振動・騒ぎの原因にもなります。

- (1) ふた座にUリングの溝を合わせて挿入してください。
- (2) Uリングが正しく付いていることを確かめつつ下部配管を取付けたふたを静かに下ろしてください。



## 6. 上部配管の取付

- (1) ふたが水平に取付いているか、ご確認ください。
- (2) フランジパッキンは、ボルト穴を合わせ、ふたの上に置いてください。
- (3) 上部の配管を置いて、ボルトを取付けてください。  
フランジパッキンは、ボルト穴を合わせ、ふたの上に置いてください。
- (4) 吸込ユニットの近傍に、可とう継手を設置することを推奨します。



## 4 確認

### 1. 据付確認

- (1) 吸込配管が垂直に取付いているか、ご確認ください。
- (2) 各部に無理な力がかかっていないか、ご確認ください。

### 2. 空気の吸込、水漏れの確認

- (1) ポンプを運転して、空気の吸込がないかご確認ください。  
空気の吸込は、揚水不能やポンプの焼付きの原因となります。配管のシール・接続は確実に行ってください。
- (2) フート弁を使用している場合は、配管内を満水にして水漏れをご確認ください。
- (3) レバー付フート弁を使用している場合は、フックを引張りフート弁の開閉もご確認ください。

## 5 保守・点検

### ▲ 警 告

- 修理技術者以外の方は、分解・修理・改造を行わないでください。不備があると、故障・破損・感電・火災の原因になります。
- 点検・交換の際は、必ずポンプの電源を遮断して作業を実施してください。漏電・感電やけがの恐れがあります。
- 機器を移動し再設置する場合は、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所にご相談ください。据付に不備があると、漏電・感電・火災、漏水などの原因になります。
- 修理の際は当社純正部品を使用してください。純正部品以外を使用された場合、故障及び事故の原因になります。また、正常な機能を発揮できない恐れがあります。

### ▲ 注 意

- 分解・点検時には内部の圧力がゼロであることを確認してください。水が噴き出し事故やけがをする恐れがあります。
- 長期間使用にならない場合は、機器及び配管内の水を抜いてください。滞留水が腐敗し、雑菌が繁殖する恐れがあります。
- 消耗品は定期的に交換を行ってください。劣化・摩耗したまま使用になると、水漏れや焼付き・破損などの事故の原因になります。定期点検、部品交換などは、ご購入先もしくは最寄りの弊社営業所に依頼してください。
- 冬期に使用しない場合は、ポンプの電源を切り、機器及び配管内の水を抜いてください。機器や配管内に水が入ったまま放置すると機器が凍結破損する恐れがあります。

### 5. 1 消耗部品

部 品 名	交換時期の目安	状態の目安
Uリング (パッキン)	分解・点検毎	-

